

## 沖縄県立那覇高等学校 2023 年度「現代の国語」シラバス

科目名	単位数	学年	学期	必修・選択	対象学科	備考
国語総合	2	1	全	必修	普通	

### 1 科目の概要及び目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

### 2 成績評価

成績は定期テストを基本とし、演習プリント及び課題、その他の提出物等に、授業態度等を加味して「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点をそれぞれABCの3段階で評価する。また、学年末には各学期のABCの評価を元に5段階で評価する。

5段階で評価する場合、各学期のABCの評価内容を次の割合で検討して行う。

「知識及び技能」を4割、「思考力、判断力、表現力」を4割、「主体的に学習に取り組む態度」を2割の、4：4：2の割合で行う。

### 3 使用教科書

精選 現代の国語 東京書籍

### 4 副教材

「新訂版最新国語便覧」 浜島書店

「改訂版現代文キーワード読解」 Z会

### 5 授業の展開と形態

週2時間 1年普通科

### 6 学習方法

授業は教科書を中心に進めていく。問題の解答、発表等、生徒の自主的取り組みも取り入れる。

### 7 その他

自主的に授業に臨む態度、提出物の期限を守ること、提出の漏れがないこと等に留意する。

「新入試」に対応するため、応用力を高める課題に取り組んでいく。

定期考査は「現代の国語」と「言語文化」2科目を60分で行い、応用的な内容を記述問題として出題する。

## 沖縄県立那覇高等学校 2023年度「言語文化」シラバス

科目名	単位数	学年	学期	必修・選択	対象学科	備考
国語総合	2	1	全	必修	普通	

### 1 科目の概要及び目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

### 2 成績評価

成績は定期テストを基本とし、演習プリント及び課題、その他の提出物等に、授業態度等を加味して「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点をそれぞれABCの3段階で評価する。また、学年末には各学期のABCの評価を元に5段階で評価する。

5段階で評価する場合、各学期のABCの評価内容を次の割合で検討して行う。

「知識及び技能」を4割、「思考力、判断力、表現力」を4割、「主体的に学習に取り組む態度」を2割の、4：4：2の割合で行う。

### 3 使用教科書

精選 言語文化 東京書籍

### 4 副教材

- 「読解のための必修古典文法改訂版」 文英堂
- 「基礎から解釈へ漢文必携五訂版」 桐原書店
- 「新版古典文法習得のための用言活用ノート」 数研出版
- 「三訂版わかる読める解ける古文単語330」 いいずな書店
- 「新訂版最新国語便覧」 浜島書店

### 5 授業の展開と形態

週2時間 1年普通科

### 6 学習方法

授業は教科書を中心に進めていく。問題の解答、発表等、生徒の自主的取り組みも取り入れる。

### 7 その他

自主的に授業に臨む態度及び提出物の期限の遵守、提出の漏れがないこと等に留意する。

「新入試」に対応するため、応用力を高める課題に取り組んでいく。

定期考査は「言語文化」と「現代の国語」2科目を60分で行い、応用的な内容等を記述問題として出題する。

# 令和5(2023)年度 シラバス

科目 論理国語 2年 2単位

使用教科書『探求 論理国語』(桐原書店)

## 1. 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

## 2. 評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

## 3. 使用副教材

改訂版 現代文キーワード読解  
LT 現代文2  
<新訂版>最新国語便覧

# 令和5(2023)年度 シラバス

科目 文学国語 2年 2単位  
 使用教科書 『文学国語』（東京書籍）

## 1. 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

## 2. 評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学習指導要領の〔知識及び技能〕について指導したことを評価する。	学習指導要領の〔思考力, 判断力, 表現力等〕について指導したことを評価する。	学習指導要領に直接該当する項目はないが、次の2つの側面を評価することが求められている。 ①知識及び技能を獲得したり、思考力, 判断力, 表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとする側面。 ②①の粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとする側面。

## 3. 使用副教材

改訂版 現代文キーワード読解  
 LT 現代文2  
 <新訂版>最新国語便覧

令和5(2023)年度 シラバス

科目 古典探究 2年 1単位

使用教科書『古典探究 古文編』

『古典探究 漢文編』(大修館書店)

1. 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2. 評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わる態度を養おうとしている。

3. 使用副教材

必修古典文法

古文単語330

古典文法 WORKS 敬語の核心

古典文法 助動詞の力解釈へのベストトレーニング

漢文必携・漢文必携チェックノート基本編

<新訂版>最新国語便覧

# 令和5年度『国語表現』シラバス

沖縄県立那覇高等学校

科目名	単位数	学年	必修・選択	対象学科	使用教科書
国語表現	2	3	選択	普通科	教育出版「国語表現 改訂版」

## 1 科目の概要及び目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

## 2 成績評価

課題発表、レポート、演習プリント、小論文、その他の提出物や授業内における小テスト、授業態度をもとに総合的に評価する。

## 3 使用教科書・副教材

教科書 「国語表現 改訂版」(教育出版)

## 4 授業の展開と形態

週2時間 3年普通科 文系選択

## 5 学習方法

生徒の表現活動を中心として学習していく。読む力、書く力を駆使してエッセイや小論文などの作品制作に取り組む、推敲を重ねることによって表現力を高める。グループ討議や、朗読やスピーチなどの発表を行う機会を持ち、互いに相互評価するなどして聞く力や言語を使って表現する力を養う。

## 6 年間学習指導計画

学期	月	学習内容	時間	指導事項
一学期	4	オリエンテーション／ウォームアップ③他已紹介 文章上達のコツ 2.文章表現の基礎 ステップ① 表記の仕方 ステップ② 語句の用法と文のくぎり方 ステップ③ 文章のリフォーム ステップ④ わかりやすい説明の方法 ズームアップ① レトリックの方法	2	内容 (1)カ
		12.エッセイを書く ★表現力テスト①	3	
	6	5.人とつながる言葉 ステップ① 挨拶と人間関係 ステップ② 待選表現-敬語によるコミュニケーション ステップ③ 励ます言葉・受け入れる言葉 ツールボックス 敬語 6.面接-社会との接点	1	内容 (1)エ (2)エ
		4.声の表現 ステップ③ スピーチの方法	4	
	7	14.メディア・リテラシー ステップ① メディアの特性を知る ステップ② 広告というメディアを読む ステップ③ 情報を編集する ズームアップ⑩ 情報の海を航海する-メディア・リテラシーの課題	8	内容 (1)ア (2)オ
		9.プレゼンテーションの方法 ステップ① プレゼンテーションの技術 ステップ② プレゼンテーションの実際 ステップ③ スライドを使ったプレゼンテーション ズームアップ⑥ 説明と説得の技術	10	
	二学期	10	ツールボックス アイディアの出し方 11.話し合いの方法 ステップ① ブレインストーミング ステップ② ディベートの方法 ステップ③ 意志決定・合意形成のための会議 ズームアップ⑧ 多数決と全員一致 ツールボックス 目的に合わせた話し合いの形態 ★表現力テスト②	5
3.小論文Ⅰ ステップ① 意見を論理的に述べる ステップ② セルフ・ディベート ステップ③ 文章の「型」-構成の方法 ステップ④ 構成ノート ステップ⑤ テーマ型小論文の実際 ズームアップ② つなぐ言葉			8	
12		10.小論文Ⅱ ステップ① 要約の方法 ステップ② 課題文から問いを見つける ステップ③ 課題文型小論文の実際 ステップ④ データを読む ステップ⑤ データ型小論文の実際 ステップ⑥ 引用と情報の明示 ズームアップ⑦ レポート作成の手順	10	内容 (1)オ (2)ウ
		8.言葉を届ける ステップ① 電子メール ステップ② 電話とメモ ステップ③ 手紙	4	
三学期	2	13.物語を作る ステップ① 二次創作を楽しむ ステップ② 絵から物語を作る ステップ③ テーマから物語を作る	8	内容 (1)オ (2)イ
		計	70	

# 令和5（2023）年度 「現代文B」シラバス（3年用）

那覇高等学校 国語科

科目名	単位数	学年	学期	必修・選択	対象学科	形態
現代文B	3	3	全	必修	普通	一斉授業

## 1 科目の概要及び目標

- 1) 近代以降の様々な文章を的確に理解し、読む能力を高める。
- 2) 優れた文章を読むことを通して、ものの見方、感じ方、考え方を深め、言語運用能力を磨き、表現力の向上へと繋げる。
- 3) 進んで読書することによって、国語力の向上を図り、人生を豊かにする態度を深める。

## 2 成績評価

### 1) 定期考査の成績

定期考査においては基礎的知識の理解のみならず、自分の考えを適切にまとめ、文章で表現することが出来ているかに関しても問う。

### 2) 学習態度等の平常点

学習過程における授業での発言・発表や課題プリント等の提出状況を評価する。  
成績は定期考査を基本として、総合的に評価する。

## 3 使用教科書

教科書・・・「現代文B」（教育出版）

副読本・・・増補版 常用国語便覧（浜島書店）

共通テスト対策国語完答 32（尚文出版）

大学入試国語頻出問題 1200 四訂版（いっずな書店）

## 4 授業の形態

- 1) 週3時間 3年普通科 各HR教室で一斉に学習する。
- 2) 必修科目としての教科書Ⅱ部（後半）を中心に授業を進める。
- 3) 副教材のうち「大学入試国語頻出問題 1200 四訂版」は自主学習を基本とし、定期考査にも出題する。

## 5 学習方法

授業は教科書を中心に進めていき、アクティブラーニングや相互評価などの言語活動を意識した学習も取り入れる。

# 令和5年度〔古典B〕シラバス（3年生用）

那覇高校国語科

科目名	単位数	学 年	学 期	必修・選択	対象学科
古 典	2	2	全	必 修	普 通

## 1 科目の概要及び目標

- ① 2年の古典学習に引き続き、様々な教材を取り上げ幅広く学習することにより、古典の内容を的確に捉え、理解する力を高める。
- ② 古典の文章に用いられている語句の意味や用法、表現上の特色や構造への理解、文章に表れた思想や感情の読み取りなどを通して、国語についての認識を高め言語感覚を養う。

## 2 成績評価

- ① 定期考査の成績
  - \* 定期テストは、大学入試問題等を視野に入れ、毎回古文では文法事項を、漢文では頻出句形を出題する。
- ② 学習態度等の平常点
  - \* 課題、ノート、単語テスト、授業態度等
  - ①、②を鑑みて総合的に判断し評価する。

## 3 使用教科書・補助教材

- \* 教科書・・・高等学校 改訂版 古典B（第一学習社）
- \* 問題集・・・共通テスト対策 国語完答 32（尚文出版）  
大学入試国語頻出問題 1200（いいずな書店）
- \* 副読本・・・（1年次より継続）  
三訂版 基礎から学ぶ 解析古典文法（桐原書店）  
三訂版 わかる読める解ける key&point 古文単語 330（いいずな書店）  
新明説漢文～句法と語彙を学ぶ～（尚文出版）  
巻頭増補版 常用国語便覧（浜島書店）

## 4 授業の目標

- \* 授業においては、文語文法をしっかりと認識させ、古典常識と漢文の表現や句形の学習を通して古典作品の読解力を充分につけ、各作品を鑑賞し、読み味わう。
- \* 古文読解の土台となる語彙の定着を図るため、定期的に古文単語テストを実施する。

## 5 学習方法

授業は教科書を中心に進め、品詞分解や口語訳においてグループ学習や発表等を適宜取り入れる。



# 令和5年度『応用国語』シラバス

沖縄県立那覇高等学校

科目名	単位数	学年	必修・選択	対象学科	使用教科書
応用国語	2	3	選択	普通科	教育出版『現代文B』 第一学習社『古典B』

## 1 科目の概要及び目標

必修である現代文Bや古典Bでの学習事項を踏まえ、現代文学と古典文学の世界をより深く味わうことのできる力の養成をはかる。また古典と現代文の比較により、現代にも通じるものの見方、感じ方、考え方に触れることで、自己の人生を豊かにする態度を育てる。

## 2 成績評価

小テストや提出物、レポート、発表、授業態度を加味して総合的に評価する。

## 3 使用教科書・副教材

- (1) 教科書 教育出版『現代文B』『古典B』（第一学習社）  
 (2) 副教材 「基礎から学ぶ解析古典文法 改訂新版」（桐原書店）  
 「新徹底理解高校漢文」（東京書籍）  
 「改訂版現代文キーワード読解」（Z会）  
 その他、適宜資料や補助プリントを配布する。

## 4 授業の展開と形態

週2時間 3年 普通科 選択

## 5 授業の目標及び展開と形態

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。また、古典としての古文と漢文を読む能力を養い、理解や関心を深めて、ものの見方、感じ方、考え方を広げ、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を養う。

## 6 学習方法

- (1) 授業は教科書を中心にすすめていく。文法書を持参すること。  
 (2) 教科書に関連して古文知識など発展した学習を行うため、前もって予習をしておくこと。  
 (3) 問題演習を行う。(配布するプリントを利用する。)

## 7 年間学習指導計画

学期	月	学習内容	時間	備考
一学期	4	『私たちはどこにいるのか?』 『神様2011』	5 5	中間調査
	5	『文学のふるさと』 古典文学史を学ぼう	5	
	6	『枕草子』宮に初めて参りたるころ	3	期末調査
	7	二月つごもりごろに	4 4	
二学期	9	『源氏物語』須磨の秋 薫と宇治の姫君	3 3	中間調査
	10	『無名草子』清少納言と紫式部 『民話と幻想』	3 5	
	11	『列子』不死之道 『戦国策』趙太后	4 4	
	12	『刺客列伝』荊軻「旁らに人無き者のごとし」 「壮士一たび去りて復た還らず」 「凶窮まりてヒ首見はる」	3 3 3	期末調査
三学期	1	『玉勝間』師の説になづまざること 兼好法師が詞のあげつらひ	4 4	
	2	言語活動 源氏物語と白氏文集	4	

年間指導時間合計

69